

令和3年度 岡山学芸館高等学校 選抜 1 期入試【1 月 29 日】 解答解説 (数学)

1

- 【正解】 ① -11 ② 6 ③ $-3x-2y$ ④ $4ab$ ⑤ $16-6\sqrt{7}$ ⑥ $(x=-1, y=-2)$
 ⑦ 60000 ⑧ $\frac{1}{6}$ ⑨ $y=\frac{1}{2}x+2$ ⑩ 5.8(点)

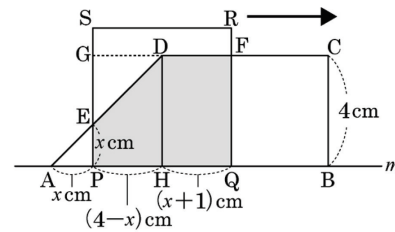
【解説】

- ⑦ $x+y=275+125=400, x-y=275-125=150, x^2-y^2=(x+y)(x-y)=400 \times 150=60000$
 ⑧ $(a, b)=(1, 2), (2, 6), (3, 1), (4, 2), (5, 3), (6, 4)$ の 6 通り。
 目の出方の総数は 36 通りだから、確率は、 $\frac{6}{36}=\frac{1}{6}$
 ⑩ 得点が 6 点の生徒の人数は、 $30-(1+0+2+1+3+4+5+3+2+1)=30-22=8$ (人)
 よって、生徒 30 人の漢字テストの得点の平均値は、
 $(0 \times 1 + 1 \times 0 + 2 \times 2 + 3 \times 1 + 4 \times 3 + 5 \times 4 + 6 \times 8 + 7 \times 5 + 8 \times 3 + 9 \times 2 + 10 \times 1) \div 30$
 $= (0 + 0 + 4 + 3 + 12 + 20 + 48 + 35 + 24 + 18 + 10) \div 30 = 174 \div 30 = 5.8$ (点)

2

- 【正解】 ①(1)(ア) $4-x$ (イ) $x+1$ (2) ウ ② $(x=)4-2\sqrt{2}$
 【解説】

- ①(1) 右の図の台形 EPHD の面積と長方形 DHQF の面積の和を考えると、
 かげをつけた部分の面積は、 $\frac{1}{2} \times (x+4) \times (4-x) + 4 \times (x+1)$
 (2) (長方形 PQFG の面積) $= 4 \times 5, \triangle DGE = \frac{1}{2} \times (4-x)^2$ なので、
 かげをつけた部分の面積は、長方形 PQFG の面積から $\triangle DGE$ の面積をひいて求めた。
 ② $-\frac{1}{2}x^2 + 4x + 12 = 32 \times \frac{1}{2}, x^2 - 8x + 8 = 0, x = 4 \pm 2\sqrt{2}$
 $0 < x < 4$ より、 $x = 4 - 2\sqrt{2}$



3

- 【正解】 ① 714285 ② 4 ③(イ) 57 (ウ) 255
 【解説】

- ① $\frac{5}{7} = 0.714285714285\cdots$ より、714285 の数の列がくり返される。
 ② $\frac{1}{7}$ を小数で表すと、142857 の 6 個の数の列がくり返される。
 $200 \div 6 = 33$ あまり 2 より、小数第 199 位の数は 1、小数第 200 位の数は 4。
 ③(イ) 714285 の 6 個の数の列が 9 回くり返され、そのあとの 3 番目の数が 10 回目の 4 だから、
 $6 \times 9 + 3 = 57$ より、小数第 57 位。
 (ウ) $7+1+4+2+8+5=27$ より、数の和は、 $27 \times 9 + (7+1+4) = 255$

4

- 【正解】 ① 3(本) ② $288(\text{cm}^2)$ ③(1) $30(\text{cm}^3)$ (2) $134(\text{cm}^2)$
 【解説】

- ① 三角柱 ABC-DEF において、辺 AB と平行でなく、交わらない辺がねじれの位置であるから、辺 CF、辺 DF、辺 EF の 3 本である。
 ② 三角柱 ABC-DEF の底面積は、 $\frac{1}{2} \times 6 \times 8 = 24(\text{cm}^2)$ 側面積は、 $10 \times (6+10+8) = 240(\text{cm}^2)$
 よって、求める表面積は、 $24 \times 2 + 240 = 288(\text{cm}^2)$
 ③(1) $BC=CG$ より、 $CG=6\text{cm}$ 点 P が点 A を出発して 5 秒後のとき、 $AP=5\text{cm}$ なので、
 $(\text{三角錐 G-APC の体積}) = \frac{1}{3} \times \triangle APC \times CG = \frac{1}{3} \times \left(\frac{1}{2} \times 5 \times 6\right) \times 6 = 30(\text{cm}^3)$
 (2) 立体 ABC-DPG と四角錐 D-PEFG は、面 DPG が共通、かつ、 $\triangle ABC \equiv \triangle DEF$ なので、それ以外の面の面積の和を比べる。
 点 P が点 A を出発して 15 秒後のとき、点 P は辺 BE 上にあるので、 $BP=15-8=7(\text{cm}), PE=10-7=3(\text{cm})$
 また、 $CG=6\text{cm}$ より、 $GF=10-6=4(\text{cm})$
 立体 ABC-DPG で、面 DPG と $\triangle ABC$ 以外の面の面積の和は、
 $(\text{四角形 ADPB}) + (\text{四角形 BPGC}) + (\text{四角形 ADGC})$
 $= \frac{1}{2} \times (7+10) \times 8 + \frac{1}{2} \times (6+7) \times 6 + \frac{1}{2} \times (6+10) \times 10 = 68 + 39 + 80 = 187(\text{cm}^2)$
 四角錐 D-PEFG で、面 DPG と $\triangle DEF$ 以外の面の面積の和は、
 $\triangle DEP + (\text{四角形 PEFG}) + \triangle DFG$
 $= \frac{1}{2} \times 8 \times 3 + \frac{1}{2} \times (4+3) \times 6 + \frac{1}{2} \times 10 \times 4 = 12 + 21 + 20 = 53(\text{cm}^2)$
 よって、立体 ABC-DPG と四角錐 D-PEFG の表面積の差は、 $187 - 53 = 134(\text{cm}^2)$

5

- 【正解】 ①(ア) (2) (イ) (10) (ウ) (6) (エ) (13)
 ②(オ) 4 ③(カ) $\frac{3\sqrt{10}}{5}$ (キ) 1 ④(ク) $\frac{9}{2}$

【解説】

- ②(オ) 中点連結定理より、 $OF = \frac{1}{2}BD = \frac{1}{2} \times \frac{4}{3}AD = \frac{1}{2} \times \left(\frac{4}{3} \times 6\right) = \frac{1}{2} \times 8 = 4(\text{cm})$
 ③(カ) $\triangle ACB \sim \triangle AED$ より、 $AC : AE = AB : AD, \sqrt{10} : AE = 10 : 6, 10AE = 6\sqrt{10}, AE = \frac{3\sqrt{10}}{5}(\text{cm})$
 (キ) $BC : DE = AB : AD, 3\sqrt{10} : DE = 10 : 6, 10DE = 18\sqrt{10}, DE = \frac{9\sqrt{10}}{5}(\text{cm})$
 $\triangle DEA \sim \triangle DFG$ より、 $DE : DF = EA : FG, \frac{9\sqrt{10}}{5} : 3 = \frac{3\sqrt{10}}{5} : FG, \frac{9\sqrt{10}}{5}FG = \frac{9\sqrt{10}}{5}, FG = 1(\text{cm})$
 ④(ク) $OG = 4 - 1 = 3(\text{cm})$ $OG \parallel BD$ より、 $HO : HB = OG : BD = 3 : 8$
 よって、 $\triangle OCH = \frac{3}{5}\triangle OBC = \frac{3}{5} \times \frac{1}{2}\triangle ABC = \frac{3}{5} \times \frac{1}{2} \times \left(\frac{1}{2} \times \sqrt{10} \times 3\sqrt{10}\right) = \frac{9}{2}(\text{cm}^2)$